



7月3日、4日に社会科見
学で、東方公園近くで野菜
作りをしている方の畑へ見学
に行きました。毎日自分たち
が口にしている野菜。それを
作る農家の方々には、どのよ
うな思いや工夫があるのだろ
うか。自分なりの学習課題を
考えて見学を行いました。

—わたしたちがいつも食べている野菜って
どのように作られているのだろう—



野菜を守るために

野菜にはネットをかけていました。鳥から野菜を守るための工夫だそうです。3年生が横浜の時間に育てている大豆にもネットをかけていますので、「プロの方も同じことをしているんだ。」と嬉しい発見でした。

プロの心意気

野菜作りのプロである栗原さんから、農家の思いや工夫についてお話を伺いました。「雑草を抜く作業は本当に根気のいる作業です。お客さんに美味しい野菜を食べてもらうために頑張っています。」と、教えていただきました。



トンネルの中の景色

見学では、元気に育ったオクラの畝の間を通ります。そこはまさに、「オクラのトンネル」。葉の影で涼んでいるような、形のよいオクラのトンネルを「すごいね、オクラがたくさんあるよ。」と笑顔で抜けました。

玉ねぎたちのお昼寝

「うわあ、畑に玉ねぎがある。」
「お昼寝しているみたいだね。」
子どもたちは、そのような言葉で驚きを表現していました。玉ねぎがそのまま植えられ、また新たな玉ねぎができることを知ることができました。

